

ID:	=患者情報!B1		(CBDCA + nab-PTX +キイトルーダ) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2 殿						入院/外来	入力日
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	開始日	年	月	日		
疾患名	非小細胞肺癌			診療科	呼吸器 (<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 外科)			
クール	1週投与2週休薬 CBDCA、キイトルーダ: Day1 nab-PTX: Day1、8、15 全4コース →PD又は有害事象無ければキイトルーダ単独で継続 (別途レジメンの作成必要)			医師名				
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input checked="" type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input checked="" type="checkbox"/> PS:0-1 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			身長	cm	体重	kg	
			体表面積	0.00	m ²	告知の有無	P S	
						同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	

重要 B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

薬品名	薬品名	単位	薬品名	単位	と開血液製剤 同意的製剤 書説明に 明に <input type="checkbox"/> 済	製薬会社へのFAX登録 (申請医師にて対応) ※事後登録は不可	<input type="checkbox"/> 済
CBDCA AUC 6	アブラキサン 100 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	ヘムフロリスマ アブ	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body		外来 化療 加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外

Day 8 および Day15 のアブラキサンのみ投与する場合は⑥のみ投与。イメドCap、デカトロン錠の内服も不要である

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
Day1				
①	イメドCap (125mg)	1 Cap	P.O	②と同時に投与
	デキサート注 (3.3mg)	3.3mg		
②	アロキシ点滴静注バッグ (0.75mg/50mL/袋)	1袋	D.I.V	15分
③	生理食塩液 (50mL)	50mL	D.I.V	10分
④	ヘムフロリスマ注 [キイトルーダ] 生食液 (50mL)	200 mg 50 mL	D.I.V	30分
⑤	生理食塩液 (50mL)	50mL	D.I.V	10分
⑥	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型) 生食液 (100mL) ※	mg 100mL	D.I.V	30分
	※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注			
⑦	カルボプラチン注 (CBDCA) 生食液 (250mL)	mg 250mL	D.I.V	60分
Day8、15 (前投薬、支持療法不要)				
⑥'	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型) 生食液 (100mL) ※	mg 100mL	D.I.V	30分
	※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注			

Day 2 & 3 イメドCap (80mg) 1Cap/回 ※午前中に投与すること

血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要!

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1/バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

アブラキサンについて、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

薬剤師へ;キイトルーダ混注時は必ず**フィルター付きプライミングセット**を使用して下さい。

注意事項など

	1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	2-③	確認者	監査者
Day	1	8	15	22	29	36 ...		
カルボプラチン	↓			↓				
アブラキサン		↓	↓	↓	↓	↓		
キイトルーダ	↓			↓				

- 【払出し～回収まで】
- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入＋シール貼付する。 ※事前準備はしない
 - 注射薬薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
 - 看護部側へは、注射薬・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。
※注射薬には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
(混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
 - 看護部側は投与後、注射薬にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
 - 薬剤部は、実施後の注射薬が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。